

GE-6-Ⅲ-02	医療倫理学	第6学年	前期 選択	1単位
担当者	足立 智孝			
一般目標 (GIO)	現代の医療をめぐる諸問題について、倫理的な観点から理解できるようになる。			
到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な医療倫理原則について説明できる。 2. 伝統的「医の倫理」と現代の医療倫理の違いを説明できる。 3. 薬学研究ならびに薬剤師に関する倫理について説明できる。 4. 各種医療において生じる倫理問題を説明できる。 			
受講心得・準備学習等	1年次履修「生命と倫理」を復習する。5年次実務実習で経験した倫理事例について整理する。現代の社会問題に広く関心を持って授業に臨む。			
事後学習・復習等	講義内容の理解を深めるために、配布資料の再読によって講義を復習し、講義ごとに提示する課題に答える。			
オフィスアワー	講義終了後に教室にて質問を受け付ける。また必要に応じてメールで対応する。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式で行う。
回	項目	内容
1	イントロダクション	薬学と倫理、伝統的「医の倫理」と現代の医療倫理との比較 1
2	医療倫理学の特徴	伝統的「医の倫理」と現代の医療倫理の比較 2
3	薬学研究倫理	被験者保護と研究公正
4	薬剤師の倫理	倫理綱領と倫理的禁忌事項
5	個別的な事案の検討(1)	遺伝子医療/遺伝子診断の倫理問題 1
6	個別的な事案の検討(2)	遺伝子医療/遺伝子診断の倫理問題 2
7	個別的な事案の検討(3)	生殖補助医療の倫理問題 1
8	個別的な事案の検討(4)	生殖補助医療の倫理問題 2
9	個別的な事案の検討(5)	移植医療の倫理問題 1
10	個別的な事案の検討(6)	移植医療の倫理問題 2
11	個別的な事案の検討(7)	終末期医療の倫理問題 1
12	個別的な事案の検討(8)	終末期医療の倫理問題 2

成績評価の方法	授業課題（60%）および学期末課題（40%）により評価する。
成績評価の基準	授業課題および学期末課題の結果の合計点が60パーセント以上を合格とする。
教科書	特に指定しない。資料を配布する。
参考書など	<p>トム・ビーチャム、ジェイムズ・チルドレス「生命医学倫理 第5版」（麗澤大学出版会）2009</p> <p>丸山マサ美編「医療倫理学 第2版」（中央法規出版）2009</p> <p>松島哲久、盛永審一郎編「薬学生のための医療倫理」（丸善）2010</p> <p>松田純ら編「薬剤師のモラルディレンマ」（南山堂）2010</p>